

## 下野コミュニティエフエム第8回放送番組審議会議事録

開催日時：2021年10月28日10時00分より	開催場所：下野市役所第203会議室
出席委員：猪瀬・小島・本橋・山内(委員長)	：4名

※発言については趣旨を変えない範囲で一部を省略・要約しています。

委員全7名のうち4名の出席をもって会の成立とし、10時00分に開会した。

## 1. 報告事項

## ・運営状況

事業者：

- ・10月に番組編成を改訂したが、一部パーソナリティの入れ換えと提供番組が増えた以外、大きな変更はない。
- ・提供番組は2枠、25分番組と55分番組が始まった。また、今回審議対象番組に含まれる、幼稚園の園児の声を届ける番組を幼稚園提供で第1・2・3日曜の夕方に実施している。
- ・前回ご意見のあった新型コロナの関係では、市民のワクチン接種の割合(数値)を市から情報提供いただいて9月から週1回程度速報することとした。
- ・市との共同制作で10月30日に特別放送を道の駅しもつけから行う予定。
- ・最近地震が多いが、地震が発生した際の体制を整えている。油断なく備えていきたい。(ケーブルビジョン株式会社ラジオ事業部管理責任者)

## 2. 審議事項

## ・議題…番組内容について

事前に送付した資料(記録物)を各委員が聴取し、それに対して委員が意見を述べた。

※2021年10月3日放送「サンデイパーティ」・「スポーツ大好き！」

山内委員長：

番組「サンデイパーティ」と「スポーツ大好き！」について、事業者からまず説明を。

事業者：

- ・「サンデイパーティ」は日曜16時から1時間55分の生放送。  
パーソナリティは大島三樹子。日曜の夕方ということで賑やかでもなく落ち着き過ぎず、地域の情報や巷の話題と40・50代向けの音楽などでバラエティに構成している。  
4月からはスポンサーの要望もあり前述の幼稚園の番組を17時から入れている。
- ・「スポーツ大好き！」はその後日曜18時55分の生放送で、社員の横塚が担当している。  
スポーツ専門番組として、栃木県地域を中心としたスポーツの結果や話題を伝えていて、日曜の試合やイベントの結果が出る時間帯に設定して速報が出来るようにしている。  
今シーズンからはサッカー栃木S Cの取材も入れ、監督や選手の試合後インタビューを放送している。これは生ではないが、日曜の試合なら試合後間を置かずに放送している。こちらはどこよりも早くお伝え出来ていると思う。

本橋委員：

幼稚園の企画はスポンサーさんのみなのか。他の幼稚園・保育園ではやらないのか。

事業者：

本来なら各園さんを回りたいところだが、人員や時間・費用などの点で難しいところ、スポンサーの協力で実現している関係上、スポンサーの園で取材させていただいている。その関係で、園のお知らせを入れさせていただいている。

本橋委員：

- ・番組で先生や看護師・調理師さんのインタビューがあったが、小さな子供達を教育するご苦労が十分伝わってきた。
- ・子供達の歌などだけでなく、子供一人一人の声を拾っても良いと思う。給食の場面でも「美味しいですか」だけでなく実際食べている物の名前を訊いてみたりしてはどうか。
- ・他の園も回るのであれば「給食のメニューベスト3」というようなのをやってはどうか。
- ・「こだまの時間」はアナウンサーの口調が急に暗くなり、おくやみ情報のような印象。番組が「サンデイパーティ」で、週の終わりにくつろぎながら来週に向けての活力という雰囲気には暗い情報が入るといえるのはいかがなものかと思う。この番組に入れるのであればもっと明るく前向きな雰囲気にできないのか。
- ・「スポーツ大好き！」は、パーソナリティの雰囲気が明るくて聴きやすいなと感じた。県内を中心としたスポーツ全般の情報と話題ということで栃木SCの関係の情報をかなり長く入れているのだろうが、試合経過や当日の結果を放送していただくのはいいと思うが、監督と選手のインタビューが長過ぎると感じた。10月3日であれば海外の情報にはなるが、翌4日がメジャーリーグ・エンゼルスとの最終戦だったのでそういう情報を入れてはどうか。また、鳥山では女子プロゴルフのメジャー大会があったが、こういうのをインタビューの時間をカットしてでも入れれば多くの方が聴いていて更に楽しいと感じるのではないかと。プロ野球の情報も、前日の試合結果は情報として古いのでは。朝の新聞やテレビを視れば判ること。夕方6時であれば、各球場の先発や途中経過なども入れれば良いのではないかと。事業者：

- ・幼稚園・保育園に関しては、取材を喜ぶ園もあれば、プライバシーの関係などで嫌がる園さんもあり、市内の園を全て採り上げることは難しい。そうなるとスポンサーになっていただいた園さんは採り上げます、ということにせざるを得ない。園児のインタビューは、収録のできる時間が限られていて、更に園児の反応もいろいろあって、マイクを向けると泣き出してしまふのだめなのに時間がかかるケースもあり、一人一人へのインタビューは実際には難しいため、全体的なお歌といったものを中心に今は放送するようにしている。今後折を見て園児一人一人のインタビューも先方と相談して考えたい。
- ・「こだまの時間」はご指摘の通りではあるが、元々は「社協だより」や下野市の広報を目的の不自由な方に向けて読み上げている団体があり、協力をお互いにということで始めた。番組の雰囲気に合わないケースもあり、本来は目的の不自由な方に向け聴き易くするためにあのような読み方をしているのだと思うが、多くの方に聴いていただきたいということで、番組の雰囲気に関係なく単に時間で差し挟んでいるので、同様のご意見も一部にあるが、ニュースと同じように聴いていただければと考えている。
- ・スポーツの情報は、専門のスタッフがいるわけではないので、できる範囲で情報を収集してやっている。サッカーのインタビューは当日の試合のものを速報として放送していて、編集する時間がないという事情がある。また、ファンなら全部を聴きたいということで、あえて全部を放送している。万人に受け入れられる訳ではないが、地元スポーツでもあるサッカーファンを取り込みたいということでご理解いただきたい。野球情報は途中経過が放送不可といった制約や手が足りない等の事情があるため、結果のみの放送となっている。

山内委員長：

- ・限られた時間や人員で限界もあるようなので、工夫して引き続きやっていただければ。
- ・スポーツ情報のジャンル、例えばメジャーリーグだったり女子プロゴルフだったり、パーソナリティが選んでいるのか。

事業者：

- ・情報の選択は基本的にパーソナリティだが、社内で検討して決めているケースもある。ただ、他で大きく報道されているものは避けるようにしている。野球やゴルフなどは他でやっているのを避けている部分もある。

小島委員：

- ・「スポーツ大好き！」でのサッカーの監督や選手のインタビューは長いし雰囲気も暗く苦痛だった。サッカーが好きな人には魅力的かも知れないがサッカーに興味がない人には苦痛だと思った。インタビューをしているのは番組パーソナリティなのか。
- ・パーソナリティはプロとして経験があるのか。トークが上手く経験があるように感じた。

事業者：

- ・サッカーのインタビューは記者会見なので新聞社の記者などで、当社はまだ新参なので質問することは控えている。
- ・パーソナリティはほとんどが一般市民で、開局に当たって研修を受けたのみである。

小島委員：

幼稚園の番組はダメ元で他の園にもトライしてみてもどうか。嫌う園もあると思うが、発表したい園もあると思う。さらに小・中学校もどうか。なぜかという、今年度から、タブレットを活用して教育がずいぶん変わりつつある。そういうのを市民に知らせる意味でせつかくの地元放送局に小中学校にも出て欲しい。運動会なども、子供達が元気にやっていることを市民に伝えるのも良いと思う。

山内委員長：

学校を取り上げているような番組はあるか。

事業者：

番組としてはないが、インタビューなどで生徒・児童にインタビューすることはある。最近では児童表彰の模様を取材して放送した。学校単位で定期的にとというのは難しいが、教育委員会と相談して今後検討したい。

小島委員：

地域総掛かりでいじめなどを解決しようという委員会が市内全校にあり、その中でも、教育が変わってきているという話がある。これまでの一斉授業ではなく子供達が主体的に学習している。こういうことを一般市民は知る機会がない。デジタル化が進んでいるので、市としてもこういうことをミニコミを使って情報発信しなければいけないと思う。

事業者：

市などと相談して今後検討していきたい。

猪瀬委員：

- ・幼稚園の番組は近隣の園なので立派な運営をされているのだなと番組を聴いてわかった。番組の中で泣いているお子さんがいたが親御さんからクレームが入ったりはないのかと。鯖の味噌煮の皮を食べている話があったが、アレルギーが出るお子さんもいると思うので、その点は注意していたのか。この番組はこの園をたまたま選んだのか。
- ・「スポーツ大好き！」は監督と選手のコメントがやはり長いと思った。1時間番組なら、普段聴けないクラブハウスやイベントの情報があつたほうが良いのではないか。

事業者：

・幼稚園の番組に関しては園の監修を受けているので、番組で放送した内容が全てである。泣いているお子さんや食物(味噌煮の皮)についても園からOKをいただいて放送している。番組の放送責任は当方にあるが、園は園児に対しての責任を専門家として負っているので、内容についても心配はないと認識している。当方にはクレーム的なものは今のところない。他園についてもお話があれば番組として企画していきたい。

本橋委員：

他の園がもし同じような番組をやりたいならまずはスポンサーになっていただくということが前提なのか。

事業者：

番組ということであればそうなる。

山内委員長：

「クラブゆうがお」に掲載されている「放送協力」が番組のスポンサーということか。スポンサーになれば番組が持てるということか。

事業者：

その通りで、「放送協力」は広告や番組のスポンサーで、マガジンにはサービスとして載せさせていただいている。加盟店や誌面広告はマガジンに対してのスポンサーであり、逆に放送でサービスしている。

小島委員：

市民の15パーセントが老人であるので、ウォーク&ランやラジオ体操など、老人向けのスポーツも「スポーツ大好き！」で焦点を当てて欲しい。そのあたりはどうか。

事業者：

「スポーツ大好き！」は時間帯からして速報的などころを優先しているが機会があれば高齢者向けの話題も採り上げたい。ただ、他の番組ではそういった話題も採り上げている。「スポーツ大好き！」に限っては速報性を優先しているということでご理解いただきたい。

小島委員：

朝が歌謡曲の番組で始まる。私は嫌いなので、朝から小節の曲がった歌謡曲というのはいかにも田舎の放送という感じがしてよろしくない。戦略としてそうしているのか。

事業者：

もちろん戦略的にやっている。朝の番組は東京の制作会社が作っていて、歌手がここに来ているわけではないが。逆にこの6時の時間帯にはどういう番組だったら良いのか。

小島委員：

朝に相応しい番組があるのではないかと。歌謡曲というと、スナックや酒場で生きるのが苦しく大変なイメージがあるので、夕方や夜が良いのでは。朝は別のジャンルではないか。

事業者：

他の局では夕方や夜に放送しているケースもあるが、だいたい朝の放送が多い。

山内委員長：

東京の放送局(※事務局注…制作会社)が作っているということだが。

事業者：

当局のような地方の小規模局では大物歌手を呼んで番組を作るというのは難しいので、東京のゆうせんさんが歌手の宣伝も兼ねて番組を作り、各放送局に無料で提供している。演歌は入れどころが難しく夕方あたりも良いと思うが、当社では自社制作番組を放送する決まりになっているのでどうしても朝ということになる。意見は参考にさせていただく。

小島委員：

朝というと、番組前に市歌が流れるが、何の説明もないので「下野市の市歌です」など説明があれば良いのでは。あれが市歌だと知らない人がいるかも知れない。

事業者：

朝の市歌は法律に基づく放送開始の音楽として使っている所以説明は入れられないが、市歌は一日3回放送していて、うち夜の1回は市歌について詳しく解説している。

### 3. その他

- ・本日欠席の根橋委員から意見書が届いているので参考として配布する。
- ・開催日を偶数月の第2木曜と固定したい。次回開催は12月9日木曜でいかがか。

議事を終了し、11時30分に閉会した。

以上